

2020 . 8. 16 敵か、機会か。(新約聖書第一テモテへの手紙 2 章 1 節～ 4 節)

<https://www.youtube.com/watch?v=w2-ES3Lep30&t=551s>

『敵か、機会か。』おはようございます。日曜日の朝の、第二礼拝へようこそ。私たちは聖書を、書ごとに、章ごとに、節ごとに取り組んでいます。私たちは現在第一テモテへの手紙を見ています。今日の箇所は、2 章 1 節から 4 節になります。まだの場合は、聖書をお開きください。オンラインの方は、お開きになって、目で追ってください。できれば、神の言葉を読むために お立ちいただけるようお願いいたします。難しければ、座ったままで大丈夫です。私が読むのについてきてください。今日は、2 章 1 節から始めて四節だけです。使徒パウロは、若い牧師のテモテに 手紙を書いています。

「そこで、私は何よりもまず勧めます。すべての人のために、王たちと高い地位にあるすべての人のために願ひ、祈り、とりなし、感謝をささげなさい。」 (Ⅱテモテ 2:1)

ホノルル市と郡の…、ああ、それは書いていませんね。すみません。

「それは、私たちがいつも敬虔で品位を保ち、平安で落ち着いた生活を送るためです。」 (Ⅱテモテ 2:2)

「そのような祈りは、私たちの救い主である 神の御前において良いことであり、喜ばれることです。」 (Ⅱテモテ 2:3)

「神はすべての人が救われて、真理を知るようになることを望んでおられます。」 (Ⅱテモテ 2:4)

ともに祈りましょう。主よ、ありがとうございます。主よ、あなたの御言葉と、今日私たちの前に 与えられているこの箇所に感謝します。あなたの御言葉の教えに油を注いでください。あなたが私に語らせた言葉をお与えください。真実と愛において、恵みで味付けされたものを。主よ、私たちが理解できるように祝福してください。主よ、私も含め、私たち全員が、御霊があなたの教会である私たちに 語られることを聞く耳を持つことを祈ります。イエスの御名によって求めます。アーメン。どうぞお座りください。ありがとうございます。今日は、ちょっと難しいけれども、話す必要のある事についてお話ししたいと思います。私たちが今日生きている世界に関して、間違いなく、非常に適切なものです。私は人々が「敵」ではないという事について お話ししたいと思います。彼らは「機会」です。私たちに反対し、 私たちに同意しない人々は 特にそうです。悲しいことに…それは実際には本当に心が痛むことです。私が次のように言うとき、理解いただけるとは思いますが、でも、本当の敵、悪魔は、彼のために、また、彼の代わりに、私たちクリスチャンに、彼の汚い仕事をさせる ことによって、大きな成功を収めています。悲しいことに、悪魔はクリスチャン同士に互いに 言い争わせることに成功しています。そして、それはクリスチャン対クリスチャン だけではありません。それはクリスチャン対ノン・クリスチャンです。ふつうは、私が「ビック 3」と呼ぶ、「世」と「肉」と「悪魔」だけで 十分だと思わしうでしょう。しかし、違います！ 私たちは、そこに「人々」を追加したいのです。それでは十分ではないかのように。私たちが立ち向かっていて、私たちに 敵対して向かってくるものが十分にあるのに、ここで私たちがクリスチャンとして 貪り、戦い、議論し、陰口を言っています。ソーシャルメディアさえ見れば分かります。言っておきますけど、それは悪化していつてます。マスクを着けている人が、着けていない人を攻撃しています。私は、皆さんの前に立って、牧師の場合は 状況はそれほど悪くないと言えたりいいのですが、実際、いくつかの点では もっとひどいとも言えるくらいです。教会を閉鎖した牧師たちが、閉鎖しようとしなない牧師たちを攻撃しています。どうしたものでしょう？ これで十分悪いのに、それに加えて、アメリカ合衆国のこの大統領がいます。単に彼の名前を言うだけで、怒りと痛烈な批判を呼び起こします。それはとても卑劣で汚いです。親トランプ派がいて 親トランプでない人々がいます。何が起きているかと言うと、皆さんも おそらくそれを見たことがあるでしょう。ここに投稿があります。ツイートがあります。こんな感じです。「悪魔のネズミ (デーモンラット)」 (*デモクラット/民主党を揶揄した言い方) 本当に？ 悪魔のネズミ (デーモンラット)？ えっと、ちゃんと理解できてるか、確認させてください。つまり…、彼らが敵なんですね。だから、あなたの今の戦いは、彼ら

に対するもの。私は誠実を尽くして、全く正直に、皆さんに尋ねてもよいでしょうか？ 私は質問しなければなりません。あなたが今「悪魔のネズミ」と呼んだ人と、イエス・キリストを分かち合うことがどうして出来るでしょうか？ それは公平ですか？ 私には、これがどれほど犠牲の大きいものであるかを推定する事が出来るものか、さらには誇張する事さえ可能なものか、分かりません。「どういう意味ですか。」私が言いたいのは、毎日、すべての人をイエスに近づけるという点で、これがどれほどの損失になっているか、ということです。あなたはこれを行っているクリスチャンたちに対して、人々が何と言っているか知っていますか？ 「クリスチャンは皆同じだ。」彼らが主や、主に関する物事と全く関わりたくないのも、不思議ではありません。こういう言い方や見方はちょっと下品ですが、それはキリストの宣伝に、本当に良くありません。またしても、良い言い方が見つかりませんが、私たちは塩と光である必要があります。この後すぐに、このことを話します。私はこれが私の人生の中で、神が長年にわたって本当に働いて下さっている領域であることを告白せねばなりません。最近は特にそうです。そして、神だけが出来る方法で、私の人々にどのように接するかに関して、私の心を変えて下さっています。それが、電話による顧客対応係で、私を45分間待たせた人であっても。言うまでもなく、私はこれを誇りに思っていないですが、こんな日がありました。それほど前の事でもありません。彼らがやっと電話に出ると、そして、私はこんな感じで…「×××!!!」今は…これがお出来になるのは神だけです。特に私の生まれつきの性質や性格、気質をもってすると。そして、皆さん得意げに私を見ないでください。私と同じ方もいるでしょう。それで、45分間保留のまま、私はもう疲れ切って、イライラして、失望しています。そこに顧客対応係の人が、こう言います。「こんにちは、ご用件は？」私は強く叱責する代わりに、「電話に出てくれてありがとう」と言います。「今日、あなたの一日がどんなものだったか想像もつかないよ。」「きっと、たくさんの本当に意地悪なお客さんがいたことでしょう。」「私は、そういう人たちの一人になるつもりはありません。」言っておきますけど、神が私のような人間にそうする事ができるなら？ あなたにも希望があります。なぜなら、そういう事になると、私は最悪だったからです。「あんたは一生の顧客を失ったぞ！」電話の反対側にいるこの従業員は、「うわ～、本当に？」ここで、どうなるかと言うと、その会話の終わりには、私はこう伝えることが出来るのです。「私は、あなたのこれから一日が祝福されるようにあなたのために祈ります。」正直に言うと、一度ならずも、最近でもですけど、相手の人が実際に泣き出したことがあるんです。私はある実話をお話しした事があります。たぶん、今日は再びそれをお話するのが良いでしょう。実話です。牧師が朝食を食べに軽食レストランに入ります。店員は本当に意地悪で、本当に失礼です。メニューを放り投げ、何も言わずに、去っていく。彼女は戻ってきて、「注文は?!」「コーヒーを一杯ください。ありがとうございます…」つまり、それほど酷い。そして、彼が注文をし終わると、彼女はメニューをつかんで、歩き去ります。食事の準備ができると、彼女は持ってきて、テーブルに投げるように置いて、歩き去ります。彼は食事を終わると、20ドルのチップを置いて行きます。食事代の4倍ほどの金額です。彼は自分の車へと向かいます。彼が駐車場にいと、店員が走ってきます。「お客さん、20ドル札を落としましたよ。」彼の答えは、「いいえ。」「あなたは今日、すごく嫌な事があったのが分かりますよ。」「私は本当にあなたの一日を祝福したかった。」「これはあなたの励ましになるかもしれない、と思ったんだ。」すると、彼女は、ただ泣き崩れるのです。そして、彼は彼女に主の話をするので。どうでしょうか？ だからこそ、聖書には、何度も何度も、人々は私たちが戦う敵ではないという事が書かれているのです。「敵」が敵なのです。サタンと彼の悪霊どもが敵なのです。おそらく最もよく知られているのはエペソ人への手紙6章にあります。霊的戦いと神の武具に関連して書かれています。なぜなら、それは霊的な戦いだからです。聖霊によって使徒パウロはコリント人にこう手紙を書いています。「私たちの武器は肉のものではない。霊的なものだ。」(Ⅱコリント10:4参照)パウロはこう言っています。「終わりに言います。主にあって、その大能の力によって強められなさい。」(エペソ6:10)「デーモンクラット(悪民主党)」に対して堅く立つことができるように、神のすべての武具を身につけなさい。」(エペソ6:11)いや、そうとは言っていない。ごめ

んなさい。はい、この言葉を使うのはこれで最後です。皆さん、要点を得たと思います。「悪魔の策略に対して堅く立つことができるように…」そして、ここに理由があります。[12節]「私たちの格闘は…」それは、興味深い言葉です。レスリングというスポーツをっている方は、お分かりでしょうが、それは徹底的です。つまり、それは徹底的な、全身を使った接触型スポーツです。「私たちの格闘は血肉に対するものではなく、…」人々：共和党と民主党、保守派とリベラル派、右派と左派。では、私たちが彼らに対して格闘しないなら、だれに対して格闘するのですか？ここにあります。それは、ここエペソ6章に定義されている4つの実体に対してです。そのすべてが霊的な領域にいて、そのすべてに異なった階級があります。軍隊のように、異なる階級があります。なので、第一に「主権（支配）」、第二に「力」、第三「この暗闇の世界の支配者たち」、そして第四に「天上にいるもろもろの悪霊 (=spiritual hosts of wickedness)」ディナーパーティーのホスト役をするように、彼らは悪のホスト役をするのです。天上において。それが、私たちが格闘する相手です。それが、私たちが戦う相手です。それが敵です。今日、私たちの前に用意されている箇所に入ります。使徒パウロは、人々が私たちの敵ではないことを確かな言葉で非常に明確にしています。選出された役人、知事、市長、彼らは敵ではありません。対立する政党は敵ではありません。イエスは彼らのためにも死んでくださったんですよね？これはどうですか？さらに踏み込んでいきますが、私はこれが…いえ、実際には、それがあなたのギアを詰まらせるか、ハードドライブを壊せばいいなと思います。皆さんの年齢に合わせた例えで、どちらでも。これはどうですか？イエスは、あなたと私を愛しているのと同じくらい、彼らを愛しているのです。どうでしょう？それは、私たちがどのように人々を見るか、それをすっかり変えるはずで。特に、私たちが何をすべきかに関して。私たちは誰のためにそれを行うべきなのか、おそらくもっと重要なのは、なぜ？そもそも何故それをやるべきなのか？それが、今日見て行きたいことです。以下は、人々が「戦場」ではなく「宣教地（任務の現場）」である事に関し、その「何を」、「だれのために」、「なぜ」という疑問に答えるものです。もう一度言っていいですか？この世界は戦場ですよ？しかし、この世界はまた、宣教地でもあるのです。ちなみに、だからこそ、あなたと私がイエス・キリストの救いの知識に至った後で、神は、「オッケー、彼らは救われた！」「彼らをここに連れてこい」とは言われなかったのです。いいえ。時々私は、神がそうしてくれたら良いのにと思うことがあります。「オッケー、救われた！」ブンっ！と消える。「彼らをここに上らせよ！」と。なぜなら、あなたが彼らをそこに残しておいたら、どんな事になるか分からないから。そうですよね？違います。あなたは救われましたが、今度はやるべきことがあるのです。あなたには使命 (mission)、任務 (commision)、大宣教命令 (the Great Commision) があるのです。「何を？」から始めましょう。1節でパウロは、若いテモテに…「そこで、私は何よりもまず勧めます。すべての人のために、王たちと高い地位にあるすべての人のために願い、祈り、とりなし、感謝をささげなさい。」いいですよ。私は、祈ることには問題ありませんでした。でも、願う？それはもう少し深く関わることです。もっと専念する感じです。彼らのためにとりなし、神に感謝する？いや…！皆さん、私の問題はですね…私自身の話をします。しかし、私が自分の話をする時、聖霊があなたを見逃がすとは思わないでくださいよ。私の問題は、単に人々のために祈る代わりに、人に腹を立て、人と口論する傾向があるということです。私が自分の祈りの生活の中で学んでいる事の一つは、あなたが人々のために祈るとき、人々に怒ったままではいけないと気づくのに、それほど時間はかからないという事です。最初は、少しぎくしゃくしているかもしれませんが、私はこの言葉を使います。本当にその言葉が好きなんです。その言葉を復活させる必要があると思います。ちょっと言ってみただけです。初めは、少しぎくしゃくしています。「彼らのために祈るの？」「彼らのためになんか祈らないぞ…」「ああ、いいですよ。彼らのために祈りましょう。」へっへっへ…「神よ、彼らを殺してください。イエスの名によって…」私たちは、詩篇でダビデがこう言っているのをすぐに思い出しますね。「彼らの歯を、その口の中で折ってください。彼らがのどを詰まらせますように！」私はそれが好きです。私はそうやって祈ります。それは聖書的です。いいえ、それはそういう意味ではありません。詩篇を私たちと一緒に学んだ方たち、私たちはそれを学びました。

基本的に、ダビデは詩の中で、こう言うかのごとくに 祈っているのです。彼らがやっている事を止めさせ、彼らが言っている事を言わせないように、何とかしてください、と。そんな感じですよ。と言うのも、自分に正直になりましょう。私の場合は... やはり、私はとにかく正直に率直に言います。私がこんな風に、誰かのために祈るとき、それは最初はこんな感じでした。「主よ。し... しい... しゅう...」すごく難しかったんです。そして、どうなったかと言うと、私が実際にそうした時、私の心全体が変わりました。そして、それが肝心な事でした。だからこそ、マタイ5章で イエスはそうするように命じておられるのです。[43節] イエスが仰っています。

「『あなたの隣人を愛し、あなたの敵を憎め。』と言われていたのを、あなたがたは聞いています。」
(マタイ 5:43)

そうです！アーメン、アーメン！ 「しかし、わたしはあなたがたに言います。…」 (あーあ) 「自分の敵を愛しなさい。呪う者を祝福しなさい。あなたを憎む者に善を行いなさい。あなたを意地悪く利用し、迫害する者のために祈りなさい。」何だって?! どうやって?! どうして?! それは神が「神であるわたしがそう言ってるんだ!」と言っているからではありません。違います。もっと、こんな感じですよ。「わたしはあなたをととても愛している。」「そして、わたしはわたしに似せて あなたを創造した。」「そして、わたしは何があなたの動機になるかを 知っている。」(*make you tick and tock TikTokをもじったジョーク) すみません。笑った方は、私が何を話しているのか 分かっていますね。まあ、いいでしょう。「わたしはあなたにとって、何が最善かを知っている。」「わたしはあなたをととても愛しているの、わたしはあなたが不必要に、無駄に、あなた自身の怒りと不服従のせいで 苦しむ姿を見るに耐えられない。」「あなたの人生を変え、彼らに対するあなたの態度を 変えることになることわたしには分かっている事を あなたがしようとしないうちに。」「わたしは設計図を持っている。回路図と言ってもいい。」「あなたがどのように作動し、機能し、考え、行動するか。わたしがあなたを造ったのだ。」「わたしは知っている。そしてこれは、修正する必要があるものだ。」「そして、わたしはそれを 修正する方法を知っている。」「これが、それを修正する方法だ。」「あなたはただ彼らのために祈り始めなさい。」—そんな気になれない! 「かまわない。」あなたが彼らのために祈り始めると、感情はあとで付いてきます。結婚に関連して、この話をしてもいいでしょうか? 夫と妻に、夫婦間の葛藤がある時? 口論です。牧師である私たちは、それを「激しい交わり」と呼びます。私はその表現が大好きです。ちなみに、私はそういう事にしています。お分かりですよ。堂々巡りで… 「私が?!」「お前はどうかんだ?!」「自分のことは棚にあげて、人のことばかり言って!」あなたはそれをくり返し、言い合って、堂々巡り…お互いに対して腹を立てます。これはどうでしょう? 止めて、息をついて。離れて、主のもとへ行く。そして、互いに怒る代わりに、相手のために祈ります。そして何が起こるかを見てください。繰り返しますが、最初はこうかも知れません。「主よ、彼らが間違っている事を あなたが彼らに示してくださるよう、祈ります。」「そして、彼らが私のところに来て、謝罪し、許しを求めますように。」ある話を思い出します。それは私のお気に入りの物語の一つです。しばらく話していませんから。それに、新しい方々がたくさんおられます。ところで、皆さんがここにいらっしゃること、私たちは本当に嬉しいです。皆さんはまだお聞きになっていませんが、18~19回聞いたことがある方々は、我慢してください。その話とは、夫婦が大喧嘩をします。夫はそれについて、自分の友人たちに話しています。「この間の夜は、酷かったよ。」「私たちは日が暮れるまで憤ったままで 床に就きたくないんだ。」「だから、私たちは眠る前に それを解決することに決めたんだ。」「時には、朝の2時になる。」「しかし、例外なく、彼女は四つ這いになって、私のもとに這ってきて、こう言うんだ。」「『ベッドの下から出てきて、男らしく戦いなさい!臆病者!』」あなたが彼らのために祈っているなら、あなたは彼らと戦ったり、彼らに怒ったりすることはできません。そうはいかないのです。祈りは状況を変えるとされています。さて、これはどうですか? 祈りは祈り手を変える。あなたを変えるのです。祈りにはあなたに対して、その効果があるのです。だからこそイエスはこう言ったのです。「あなたを呪う人々を祝福しなさい。あなたの敵を愛しなさい。あなたを憎む人に良いことを

しなさい。意地悪くあなたを使い、あなたを迫害する人のために祈りなさい。」そして、これが理由です。

「天におられるあなたがたの父の子どもになるためです。父はご自分の太陽を悪人にも善人にも昇らせ、正しい者にも正しくない者にも雨を降らせてくださるからです。」 (マタイ 5: 45)

私は主との歩みの初めの頃、私はいつもこう考えていました。「雨は正しい人にも正しくない人にも降る！ そうだ！」それはそういう意味ではありません。雨は良いものです。なぜなら、あなたには作物があるから。それには雨がが必要です。そして神は正しい人にも正しくない人にも両方に雨が降ることを許します。それからイエスはこう言っています。これは面白いです。聞いてください。「自分を愛してくれる人を愛したとしても、あなたがたに何の報いがあるのでしょうか。」それは簡単なことです。

「取税人でも同じことをしているではありませんか。」 (マタイ 5: 46)

「また、自分の兄弟にだけあいさつをしたとしても、どれだけまさったことをしたことになるでしょうか。」

IRS (税を徴収する機関) の職員でさえ 同じことをしませんか？ それが基本的に、彼が言っていることです。彼らはその時代、軽蔑されていました。言い換えれば、イエスが言っていることは、あなたに良いことをしてくれる人だけに良いことをしても、あなたを愛してくれる人だけを愛するなら、あなたを祝福してくれる人だけを祝福するなら、あなたのために祈ってくれる人だけのために祈るなら、あなたは他の誰とも変わりません。何があなたを際立たせ、あなたをわたしの弟子の一人、わたしの信者の一人として認定すべきかということ、これです。それは初めて聞くことです。私はあなたのために祈ります。「ええ、でも、私はあなたを罵ったんですよ。」分かってます。だから私は祈るんです。その通り、あなたは私を呪い、私を罵った。私はあなたのために祈ります。「ほんとうに？」はい。「ほんとうに？」「そんなことを私に言うクリスチャンに 会ったことない。」「あなたはどこの教会に行ってるんですか？」ね？ そこで突然、関心が出てきます。... 誰もがクリスチャンに尋ねる 2 つの質問が 何であるかをご存知ですね？ 質問 1。「それは本物か？」「あなたは本物なのか？ それとも、他の人たちと同じなのか？」そして 2 番目の質問。「それは上手くいくのか？」それは本物か？そして、それは上手くいくのか？ ところで、彼らは、それが本物であり、そしてそれが上手く行くことを望んでいます。

なぜなら、それがあなたにとって本物であって、あなたにとって上手くいっているなら、それは彼らのためにも上手くいき、彼らにとっても本物であるからです。「私はあなたのために祈ります」と、誰かに言うだけで すべてが一変します。そしてそれは、人生を一変させるものにもなり得ます。2 節で、誰のために？について話しましょう。ところで、私はここで世界保健機関 (WHO) のことを言っているわけではありません。パウロは誰のために？という質問に答えています。

「王たちやすべての高官のためにも (祈りを) ささげなさい。私たちが常に信心と 品位を保ち、平穩で落ち着いた生活を送るためです。」 (II テモテ 2: 2 新共同訳)

私はパウロがそういう言い方をしたのが 興味深いと思いました。なぜなら…考えてみれば、逆もまた真実であるからです。特に政治的に、私たちに反対する人たちに関しては。平和で静かで、敬虔で聖くある代わりに、全面戦争です。それは神のみこころに沿わず、聖くありません。それは、相手を主の元へ導く (get them to the LORD) のではなく、「主よ、彼らをやっつけて下さい」 (Get them! Lord) です。そうですね？ これは難しいですが…しかし、言わなければなりません。私はそれに自分自身を含めます。私たちは皆、すべてのツイート、すべての投稿、すべてのコメント、すべての電子メールに対する責任が問われます。主の前に立つときに、書いた言葉や話した言葉の一つ一つについて 私たちは弁明するのです。さて、良い知らせは、パウロの第一コリント人への手紙の 3 章によると、彼は肉で行われたすべての事は、木や 草や わら のように燃やされると述べています。そして御霊によって行われたすべてのものは、その同じ火によって、高価な宝石や金に洗練される、と。言い換えれば、これらのツイート、投稿、メール、コメントのすべてについて、私たちは弁明をするのです。その後、それらはすべて燃やされます。あなたが私のような人間であるなら、あなたの山は、燃えるのに、しばらく

く時間がかかるでしょう。私の山はそうだと自覚しています。私は主と共に歩いて何年も立ちました、38年間です。 ああ、なんということでしょう。私たちがこのように言う事の一つです。ああ、私が今知っていることを、あの時知っていたらなあ…今知っていることを、あの時知っていたら良かったのに。送信されたメールは取り消せません。本当ですよ。私はやってみましたから。 たぶん、皆さんもですね？ 私は数年前にある事を始めました。私はある状況にいました。私たちはそれを”ある状況”と呼びます。”状況”が何を意味するか分かりますね。 空欄はご自由に埋めてください。ある状況があります。対処する必要がある問題があります。私の肉が、すぐそこに、列の先頭に立っています。私の霊が後ろから、「ねえ！おい、おい…」ここで私の肉は…(キーボードを打つ) すべて大文字で打とうとして… でしょう？ 今は、神の恵みによって…繰り返しますが、神が私の人生でこれを行うことができるなら、神はあなたの人生でも、これを行うことができます。今は、私は送信ボタンを押しません。私はそれを下書きファイルに保存します。私は主を待ち、私は主を求めます。そして、私は翌日まで決定を延ばします。神の憐みは朝ごとに新しい。(哀歌 3:22-23 参照) 私は朝起きて、主との時間を持ちます。その後、私はそれを考え直し、私がそのメールを見ると、ほとんど例外なく、「神様、私がこのメールを送らなかつた事に 感謝します。」そうでしょうか？ そうすると、私は御霊にあって、肉にはありません。私は大文字も使わず、それを全部書き直して、それを送ります。マタイ 5章 16節 そして、私たちはこれらの聖句を知っています。私たちはそれらをよく知っていて、多くの方はそれらを暗記しています。スクリーンの壁紙にそれを表示したりして、私たちはその御言葉をよく知っています。しかし、私が今これを読むとき、初めて読んでいるかのように 見てもらえますか？

「このように、あなたがたの光を 人々の前で輝かせなさい。人々があなたがたの良い行いを見て、天におられる あなたがたの父をあがめるようになるためです。」 (マタイ 5:16)

彼らは先ほど話したメールの受信側にいます。彼らは、そのメールが非常に異なったものになっていたかもしれないけれど、そうはならなかつた事を はっきりと認識しています。それは良いメールであって、それは良い返信でした。それは、時宜にあって語られた言葉であり、神に栄光をもたらしました。レジを通る時はどうですか？ マスクを着けて。私は先週、これをお話ししたと思います。マスク着用は私にはきついんです。でも、私は着用します。私がレジで精算する時、証することになりますから。それに、そうしないと、ポケを変えないので、 そうしないといけないんです。彼らもマスクをつけねばなりません。 でないと、失業してしまいます。そうですね？ 何人の人が… その人たちが クリスマスでない事を願いますが、悲しいことに、ある人が、ビデオを送ってくれたんです。 ある男性がマスクを着用することを拒否したために ある場所から追い出されているのが 録画されています。彼らは警察を呼びました。大事件です。ビデオの中のある時点で、彼が警察官に 「あなたはイエスを知っていますか？」 と尋ねます。「あなたは神を信じますか？」警察官は背を向けて見下すように言いました。「いや、信じない。」それは、こんな感じで… 「あなたがした事も良いもんじゃない。」「あなたの行動もためにならない。」なので、あなたはマスクを着けて、 レジに並びます。ちょうど先週、私は電話中で、マスクを着けるのを忘れていました。私はいつも入り口を通過する瞬間に マスクをつけるんです。(着用時間を限るため) 男がこんな感じで言いました。「ねえ、マスクを着けないと！」私は「本当に、すみません。すっかり忘れちゃって…」私はポケットからマスクを引っ張り出して マスクを着けて、言いました。「すみませんでした。」「うん、大丈夫だよ！」そして私は買い物をしてレジに並びます。私はその前日にもそこに行っていました。はい、私はポケがそれくらい好きなんです。私は彼に、「また来たよ！」と言いました。彼は私を見て、「ああ、また来たんだね。」私は、「今日はどう？」「(もごもご) ……」 「何て?!」私がマスクの好きなのところは… ちょっとふざけますが、私は叫ぶのが好きなんです。マスクを着けていると、 私は叫ばないといけないんです。だって、そうしないと聞こえませんか。すべてをハキハキと言わなければなりません。「今日は 調子は どう ?！」そして、会話に火がついて…これは午後の1時ごろです。私は彼のシフトの時間帯を 知りませんが、私が断言できるのは、おそらく、そのレジに来たお客さんの中には、相当苛ついて、ムシヤクシャして、 イライ

ラした人がいて、彼の生活を惨めにしていたという事です。だから、私はいつも去る際に、「やあ、残りの一日が祝福されますように！」と伝えます。なので、彼らは今では、私に来ないかと、何となく待ってるんです。それが良い事かどうかは分かりませんが。他に、おそらくマネージャーの一人だと思われる女性がいます。私が行くと、彼女はいつも私のところに来ます。私はいつも彼女の様子を尋ねます。そして、彼女はいつもこう答えます。「元気ですよ。あなたはどうか？」私は最近こんな風に答えます。これは良いですよ。ところで、皆さんも使えますよ。私は著作権も特許も持っていませんから。私はこう言います。「私はとっても祝福されている。あなたが信じられないほど。」「?! そうなの…? こう言うのは初めてだわ…」だって、ここに来る人は皆、意地悪で、怒っていて、呼吸ができなくて... それは別の問題ですが。なのに、あなたは祝福されているって?! わお。私はあなたが持っているものが欲しい。そうですね? それがどのように作用するか、わかりますか? それが目なんです。それが光なんです。私たちは塩であり、光です。塩は味をつけ、保存する。光は暗闇を取り除く。あなたは暗闇のスイッチというものが存在しないことに気づいたことがありますか? またまた、それは…これには臨床名がありますが、私はそういう風な考え方をするんです。半分くらいの方がついて来れなくなりましたね。皆さんはこんな感じで…「うわ〜、そんなこと考えたことなかった。」暗闇のスイッチはありません。明かりのスイッチしかありませんが、これは実際には暗闇のスイッチなんです。明かりをつけると、暗闇が消えます。私たちは光です。私たちは明かりのスイッチです。あなたの明かりのスイッチをオンにしておきましょう! 「なぜか?」についてお話ししましょう。3節と4節です。最後ですが、間違いなく重要なこと。私たちには「なぜ」に対する答えがあります。パウロはその「なぜか?」に答えています。

**「そのような祈りは、私たちの救い主である 神の御前において良いことであり、喜ばれることです。」
(Iテモテ2:3)**

「神はすべての人が救われて、真理を知るようになることを望んでおられます。」 (Iテモテ2:4)
彼らでさえも。「ええ、でも、彼らのツイートを見ましたか?」見なくてもいいんです。それは、彼らと主との間のことです。あなたは何をリツイートしたり、そのツイートにどう返信するつもりですか? 私はツイッターをいびってます。フェイスブックもそうです。フェイスブックは最悪です。私はもうフェイスブックは滅多にやりません。私たちにはソーシャルメディアを担当してくれている人たちがいます。私はツイッターの方をよく使います。だから、ツイッターをいびってるんです。しかし…、私の見方は次の通りです。典型的なものとして 私はツイッターを引き合いに出しています。大半の人たちのように、それを戦場として見ることも出来るし、宣教地として見ることもできます。そう見る人は僅かですが。そこは、宣教地です。私たちの言葉には生と死を支配する力があることに気づいていますか? (箴言 18:21 参照) こういうことです。時には、何かを考えつく必要もないんです。それはもうすでに、そこにあるのです。ただ、御言葉をツイートする。「主よ、どの聖句が良いでしょうか?」なぜなら、神のことばが 空しく帰ることはないからです。私の言葉はむなしく帰って来ます。そして、私はブロックされますしかし、神のことばが 空しく帰ってくることはありません。(イザヤ 55:11 参照) それは両刃の剣です。それは外科的に切り、切り取ることができ、骨と骨髄、魂と霊の間を切り分けることができます。(ヘブル 4:12 参照) 聖霊は、聖なる御言葉を使って、そしてとにかく、外科的に完璧に愛をもって、神だけにお出来になる事をする事が出来るのです。もしあなたが、彼にそうしていただくなら。「ただ、聖書の御言葉だけでもいいんです。」誰かがツイートします。卑劣な内容です。ピリピ 4章 13節をツイートします。「私は、私を強くしてくださる方によって、どんなことでもできるのです。」そして、そこからはただ聖霊に任せるのです。聖霊に働く余地を与えてください。誰かが何かをツイートしています。彼らはすべてを失ってしまった、と。「神は恐れ(臆病)の霊をあなたに与えていない。」これはテモテにあります。(IIテモテ 1:7 参照)「何も思い煩わないで、すべてのことを祈りなさい。すべてを神に感謝しなさい。そうすれば、神の平安があなたの心と意思を守ります。」(ピリピ 4:6,7 参照) 平安、完璧な平安で守られる。イザヤは、「神から目を逸らさない者を、神

は全き平安のうちに守られる。」（イザヤ26：3参照）神の御言葉の権威によって、私は皆さんにこう約束できます。あなたがそれをしさえすれば、あなたはすべてが変わることに気づくでしょう。それは全体の様相を変えるのです。神が、誰ひとりも滅びることを望まず、すべての人が悔い改め、イエス・キリストの救いの知識に至ることを望んでおられるという事は、分かり切った事であるのは承知していますが、しかしここでも、私たちが本当に自分に正直になれば、私たちは本当はそういう見方をしていない事を、認めねばなりません。例えば、教会の状況について話してみましょう。迫りくるシャットダウンが、今週中にも計画されていると思われます。早ければ明日にも、彼らが再びハワイ州を閉鎖すると聞いています。それは、教会を閉鎖することを意味します。それで、私は何と反応するのでしょうか？ 知事、副知事、市長、そして彼ら皆がイエスを必要としているという文脈で、私がそれを見るなら、それは、私がするすべての事や、それだけでなく、私たちが言う事すべてに影響を与えるはずではないのでしょうか。なぜなら、それが終盤戦だからです。そこにゴールがあるからです。それが理由です。なぜなら、イエスは彼らのためにも死なれたからです。彼らはイエスを必要としています。私は妻と話していました。息子だったかもしれませんが。先週、私が外出していたときの事です。あらゆる事が起こっていて、それが迅速に起こっているために... ああ、思い出しました。私は木曜日の夜について考えていました。私たちは伝道者の書を始めました。ソロモンは1章18節で、「知恵が多くなれば、悩みも多くなり、」と言っています。「知識が増す者には、いらだちも増す。」あなたは「無知は至福（知らぬが仏）」という表現を聞いたことがありますね？ つまり、あなたが知らないことは、知らないんです。そして、時に、あなたが知らない時には？ あなたはただ、楽しく生きるだけです。ロードランナーでしたか？ 誰でしたかね... ウッディ・ウッドペッカー。どうもありがとうございます。うわー、（記憶が）ひどいです。前にも言いましたが、私のために祈ってください。つまり、あなたはただ陽気に生きて行くだけです。しかし、あなたが主を知り、主を畏れて知恵によって歩いていて、何が来ようとしているかを知っていると？ それは、聖化された悲しみと一緒にやって来るのです。そこで、私は今は、運転中に人々を見ると...これも問題がある領域なんです、私はこれを告白したので、私の心は正しく、私の手は清いです。私は、運転中における私の葛藤について、皆さんに告白したことがあります。長年にわたって、神が私の中でどのように働いて下さったかを。誰かがあなたの車の前に割り込んできて、彼らの車の後ろに魚が貼ってあったら？（魚のステッカー：クリスチャンの意味）それが起こると、聖化はあなたからぶっ飛んでしまいます。しかし今は、運転中であろうと、店内であろうと、外出中であろうと、私は人々を見る時、こういう風に見るんです。そして、彼らについて自分自身にこう言い聞かせます。「もし、彼らがイエスを知らないなら、彼らは何が起ころうとしているのか全く分かってない。」「そして彼らは取り残され、言い表せないほどの恐ろしいことになる。」だから、私はこうします。それは非常に簡単です。私はただ彼らの救いを祈ります。それは複雑である必要はありません。それはただ「主よ、彼らを救ってください。」（Lord, save them.）三語です。神は三語の祈りに答えてくださいます。ペテロに尋ねてください。彼が水の上を歩いた時のことです。「来いと命じてください。」イエスは「来なさい。」と言います。彼は水の上を歩き始め、主から目を離すと、沈み始めます。彼は三語で祈ります。「Lord, save me./主よ、助けてください。」そして、神は助けられます。あなたはこんなイエスを想像できますか？「おい、ペテロ！」「私は、それより良い祈りを教えただろう。」「天にいます、われらの父よ...」...彼はその時には、ガリラヤ湖の底に沈んでいるでしょう...私は特に祈りに関しては、ふざけ過ぎるつもりはありませんが、皆さん、要点は得たと思います。ただ、単純な3語の祈り、「Lord, save them./主よ、彼らを救ってください。」さらに踏み込みたいなら、「主よ、誰かを彼らの人生に送り込んでください。」彼らをあなたの元へ連れてくる事ができる人を。彼らにはあなたが必要です。そして、それはすべての人に当てはまります。第1節にありましたね。「すべての人」です。彼らでさえも。私たちは彼らのために祈る必要があります。彼らは主を必要としています。特に今は。今まで以上に、彼らは主を必要としています。それは神の御心であり、それは主を喜ばせるのです。私はここにもオンラインにも、私たちの中に、主の前

に喜ばしい人生を送りたくない人は いないと思います。そうですね？ そして、私たちには、これが救い主を喜ばせると 告げられています。これは神を喜ばせる。 私は神を喜ばせたいですよ。私は子どもたちのことを考えます。私たちの子どもは本当に、両親としての 私たちの肯定と愛情と注目を求めています。そして、彼らはそれを得るために できる限りのことをします。そして、彼らは私たちが喜ばせたいと思っています。言うまでもなく、罪の性質はありますが、 彼らは私たちが喜ばせたいと思っています。彼らは母親と父親に誇りに思ってもらいたいのです。 彼らに満足してもらいたいのです。喜んでもらいたいのです。ならば、私たちの天の父は、なおさらでしょう。これは彼を喜ばせる。 私たちが、主を代表する者として外に出て、 人々を彼へと近づけると、それが どれほど神を喜ばせるか想像できますか？ もしかしたら、イエス・キリストの救いの知識に 誰かを導くという、素晴らしい特権が 与えられているかもしれません。これほど素晴らしいものはありません。第二コリント5章20節で締めたいと思います。それはすべてを要約しています。それは、すべての教えを締めくくります。使徒パウロはこう書いています。「こういうわけで…私たちはキリストに代わる 使節（大使）なのです。」大使が何か知っていますか？ 他の誰かに、または他の場所に 代表者として送られる人のことです。米国には 国連大使がいます。 その大使は米国を代表しています。私たちはキリストの大使です。私たちは使命を受けています。私たちにはこの大きな名誉と、 この素晴らしい特権があるんです。 このように考えましょう。神はあなたや私のような人間を使わないという 決断を簡単に下すことができたのです。実際、もし私が神なら（これが私が神でない理由ですが）、 私は人間を使わなかったでしょう。私の意見です。もし私が神だったら、私はただ天を開き、 顔を突っ込んで言ったでしょう。「おい！わたしは神だ！救われなさい！」 そして、それで終わり。またしても、それがふざけてるのは分かっています。神は私たちのような者を、ご自分の代表者として、 ご自分の大使として用いることを選ばれたのです。パウロはこう言います。「こういうわけで、神が私たちを通して 勧めておられるのですから、私たちはキリストに代わる使節(大使)なのです。分かりましたか？ 神は私たちを通して語っておられます。神は私たちを使っておられます。神は人々に手を伸ばすために、 私たちを用いることを選ばれました。そして、パウロは言います。「私たちは…願います。」 ところで、それは非常に強い言葉です。私たちが、もうあまり使わない言葉です。「implore/…願います(懇願します)。」誰かが「I implore you/あなたに懇願します」と言うと、「ああ、あなたは何世紀から来たんですか？」と。「あなたはシェイクスピアを引用してるんですか？」『I implore thee/ 汝に請う。』それがどんな概念か知っていますか？「私はあなたに請い願っています。」「私はあなたに嘆願しています。」「私たちはキリストに代わって願います。神と和解させていただきなさい。」(Ⅱコリント5:20)それが何を意味するか分かりますか？それは分離が存在していることを意味します。そして今、和解が必要だ、という事です。どういう意味でしょうか？ あなたの罪は あなたを神から引き離しました。そして、私はイエス・キリストの元へとあなたを連れ戻し、彼と和解させるための キリストの大使です。彼らはあなたを見てこう言います。「あなたが彼の大使？」はい、(あなたの言いたい事は)分かっています。 そうなんです。主は私を選びました。「あなたを？」まあ実際には、神があなたを用いることが出来るなら、 それは私にも希望があるってことだ。私は、かつてゲイル・アーウィンが言った事が 大好きです。彼はこう言いました。「私が神に疑問を持ち、唯一神について 不思議に思うのは、私を用いるという彼の選択だ。」それだけが疑問だ。それ以外は、神に関して 私の頭を悩ませるものは何もない。神が私のような者を、神の大使として 用いることを選んだこと。キリストに代わって人々を神と和解させるために。それが理由です。それが理由です。そして、それは神を喜ばせます。そして、本当にそれが目的ですよ？ 私たちはこう話します。「私は人生の目的が何であるか分からない。」それはここにあります。ちょうどここに…。これが目的です。「私に何か目的があるような気がしない。」あなたには目的があります。私を信じてください。これがあなたの目的です。これがあなたの目的です。お立ちください。祈りましょう。主よ、ありがとうございます。主よ、私たちが今日ここで、あなたの御言葉の中で 聞いたことを、聖霊が、言わば次の段階へと 導くことが出来るのを私は知っています。それを私たちの生活に適用するために、私

たちの心への祝福としてください。主よ、あえて言わせていただきますが、私も含めて、ここにいる者の中には、あなたを喜ばせたくない人は一人もいないでしょうし、そう祈ります。人々をあなたの元へと導きたくないという者はいないでしょう。主よ、私はただ求めます。多分これはこれを聞く必要がある誰かのための言葉です。あなたの御言葉のこの真理は、彼らが想像することすら出来ない方法で、彼らの人生を完全に變えることが出来ます。適用されさえするなら。知識は単なる情報であり、主よ、それが私たちの多くにとっての問題です。私たちはただそれだけのものとしてしまいます。単なる情報として。しかし、知恵はその情報を適用することです。あなたはヤコブの手紙の中で、私たちに約束されました。もし誰でも知恵を求めるなら、それは与えられると。そして、あなたは与えないでおくことはなさいませぬ。あなたは惜しげなく与え、少しも差し控えたりなさいませぬ。主よ、私はこのことについて、ただただ、上からの知恵を求めて祈ります。イエスの御名によって。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7